

学校名	大竹市立玖波中学校
校長名	長尾 重範
所在地	広島県大竹市玖波4丁目12-1
H P	kubachu@alto.ocn.ne.jp
学級数	6
タイプ	

1 研究の概要

(1) 研究主題

豊かなことばでわかりやすく伝える力を育てる
 ~ 思考力、表現力を高める授業づくり ~

(2) 研究のねらい

「ことばの時間」における「言語技術」指導を基礎として、各教科等と連携して思考力、表現力を高め、「生きる力」としての「ことばの力」を育成する。

(3) 研究組織・体制

「一人一役」を合言葉に、全教職員で研究に取り組めるよう研究体制を整えた。

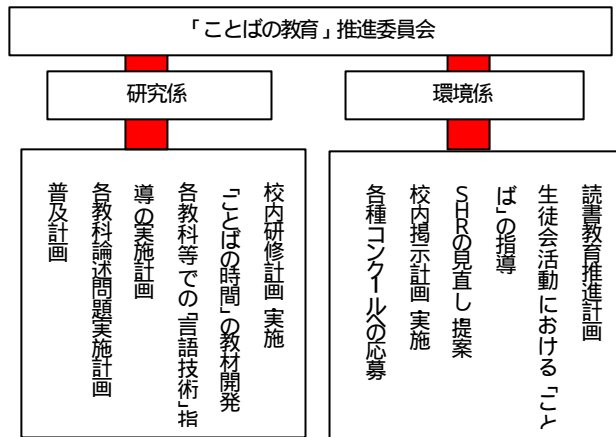


図1 「ことばの教育」の研究組織

2 2年間の取組みの概要

(1) 2年間の取組みの流れ

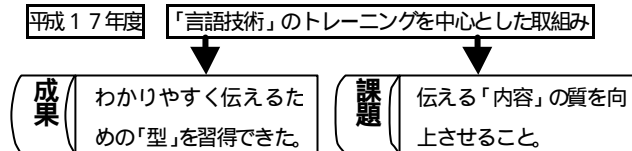
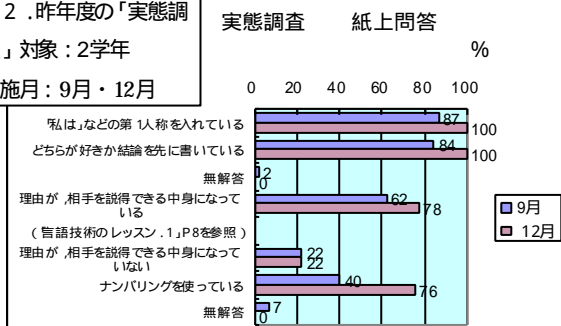


図2 昨年度の「実態調査」対象：2学年
実施月：9月・12月



平成18年度 「思考力」「表現力」の両方を高める授業づくり

(2) 今年度の研究の視点

「ことばの時間」における「言語技術」の指導内容・方法や教材の研究・開発を行う。

各教科等における「ことばの教育」のあり方を研究する。言語意識を高める言語環境づくりをおこなう。

(3) 研究内容

「ことばの時間」における取組み

- ア 対象・授業時数 全学年・週1時間
- イ ねらい 文章や図、表、絵などを読解、比較、分析をし、自分の考えを自分の言葉でわかりやすく表現することで、論理的思考力、自己表現力、コミュニケーション能力を養う。

ウ 各学年のねらいと教材例

学年	ねらい	教材例
1 学年	文章や図、表、絵などの読解、比較、分析したことをわかりやすく伝える力を身に付ける。	・問答ゲーム・再話 ・絵の分析 ・メモの取り方 ・KJ法で話し合い ・意見文の書き方
2 学年	文章や図、表、絵などの読解、比較、分析したことをもとに自分の考えを構築し、効果的に表現する力を身に付ける。	・絵の分析(テーマ) ・物語の構造分析 ・複数の視点で考える ・アピール

表1 「ことばの時間」のねらいと教材例

エ 教材開発と指導の実際

平成17年度は三森ゆりか先生(つくば言語技術教育研究所所長)の指導カリキュラムを参考に、生徒実態を踏まえて「ことばの時間」の指導内容を考えた。参考にした主な指導内容は「問答ゲーム」「再話」「絵の分析」「描写・説明」である。平成18年度は17年度の指導内容を生かしながら、「教科と関連のある教材」「実生活に生かせる教材」「思考力を高める教材」を開発した。開発した教材のなかで、生徒アンケートで最も有用性が高いとされたのは「メモの取り方」であった。これはどの学年でも「メモをとるのが簡単になった」「聞くとき要点がわかるようになった」など具体的な実感が挙げられていたことから、効果的な教材であったといえる。この授業は次のような展開である。

テーマ「メモの取り方」
ねらい「情報を適切に整理し、要点をまとめる技術を身につける」

授業の展開

- 1 メモの取り方7箇条を示し、お手本を見せる
- 2 電話のメモをとる練習を難度をあげながら3回おこなう。
- 3 実践編として講演のメモをとる。



トレーニングから実践へ



